

# yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より  
パソコン室から 不定期 発行

No. 5 2  
平成 1 9 年 9 月 2 0 日  
情報教育アドバイザー  
広田 さち子

## 文字入力事始め（1年生の授業から）

1年生が、文字入力を始めました。（いわゆる）ローマ字入力です。

これまでに、1年生が勉強して、知っていること

- ・開く（ワードのアイコンをクリックして、色が変わったらEnterキーをちゃんと押す）
- ・決めるボタン（Enterキー）
- ・困ったときは：Escキー、元に戻す（Ctrl+Z、ツールバーのアイコン）
- ・マウスポインタは、矢印の先っぼだけ注目（パソコンと、同じところをみる）

今日、初めて覚えること

- ・文字を入れるときパソコンが見ているところ  
    タイトルバー（青くなっていなくてはいけない）  
    文字入力カーソル（点滅する縦棒、ここに文字が入る）
- ・消しながら戻る：BackSpace キー
- ・AIUEO      あいうえお
- ・画面に文字を作るときは、同じ仲間を示す文字（子音）にAIUEOの文字を足す
- ・画面の文字の下に、点線の下線があるときは、まだ文字が「決まっていない」状態
- ・画面の文字の下に点線の下線がないと、AIUEOを足しても平仮名にならない
- ・点線の下線を消して平仮名に「決める」ときは、Enterキーを押す
- ・下線を消して、もう一度 Enter キーを押すと、次の行にいける

Aが「あ」になることがわかったときの驚きと感動が伝わってくるので、1年のうちで、この時間  
がもっともパソコンを教えていてうれしいときです。

あいうえお、かきくけこ、さしすせそ、まで説明すると、仕組みのわかった子供はどんどん先へ  
進みます。

授業で使っている50音表には、あえて仮名ごとの表記を記入して  
いません。あるのは仕組みから外れているもの（FU、JI、THI など）  
だけです。こうすることで、子供たちは、タテ・ヨコに表をたどること  
で、文字入力の仕組みを速く覚えていくことになります。

	A	I	U	E
あ	あ	い	う	え
か	か	き	く	け
さ	さ	し	す	せ
た	た	ち	つ	て